

～奈良地域創生を目指して～  
奈良県の経済、産業を振興し、雇用を  
促進するには、どうすればよいのか

- I 奈良県の経済の動向と経済構造
- II 奈良県の産業興し
- III 奈良県の雇用力の強化

第5回 奈良県経済産業雇用振興会議  
平成26年8月19日  
奈良県

第34回全国豊かな海づくり大会～やまと～  
平成26年11月15日(土)・16日(日)  
大淀町・川上村・五條市・橿原市にて開催



©NARA pref.

# I 奈良県の経済の動向と経済構造



## I 奈良県の経済動向・経済構造を見てみると、概ね次のようなことが分かる。

1. 奈良県の実質経済成長率は、景気回復局面において、概ね国のそれを**下回っている**。それは、**域外移輸出力のある製造業の力が弱い**ためのように思われる。

2. 奈良県経済は、**どちらかといえば「内需型」**。  
内需率(県内自給額／県内生産額)は68%。  
**域外取引は、赤字体質**。  
域外取引は、約8,000億円の赤字(H17)。

3. 奈良県の県内総生産の全国比率は、概ね**0.7%台**。  
また、その比率は減少傾向。しかし、県外からの所得が非常に大きい(毎日県外に出稼ぎに行っている県)。

4. 奈良県の金融構造は預金が多く、貸出金が少ない金余りの状態。  
預貸率は30%台。

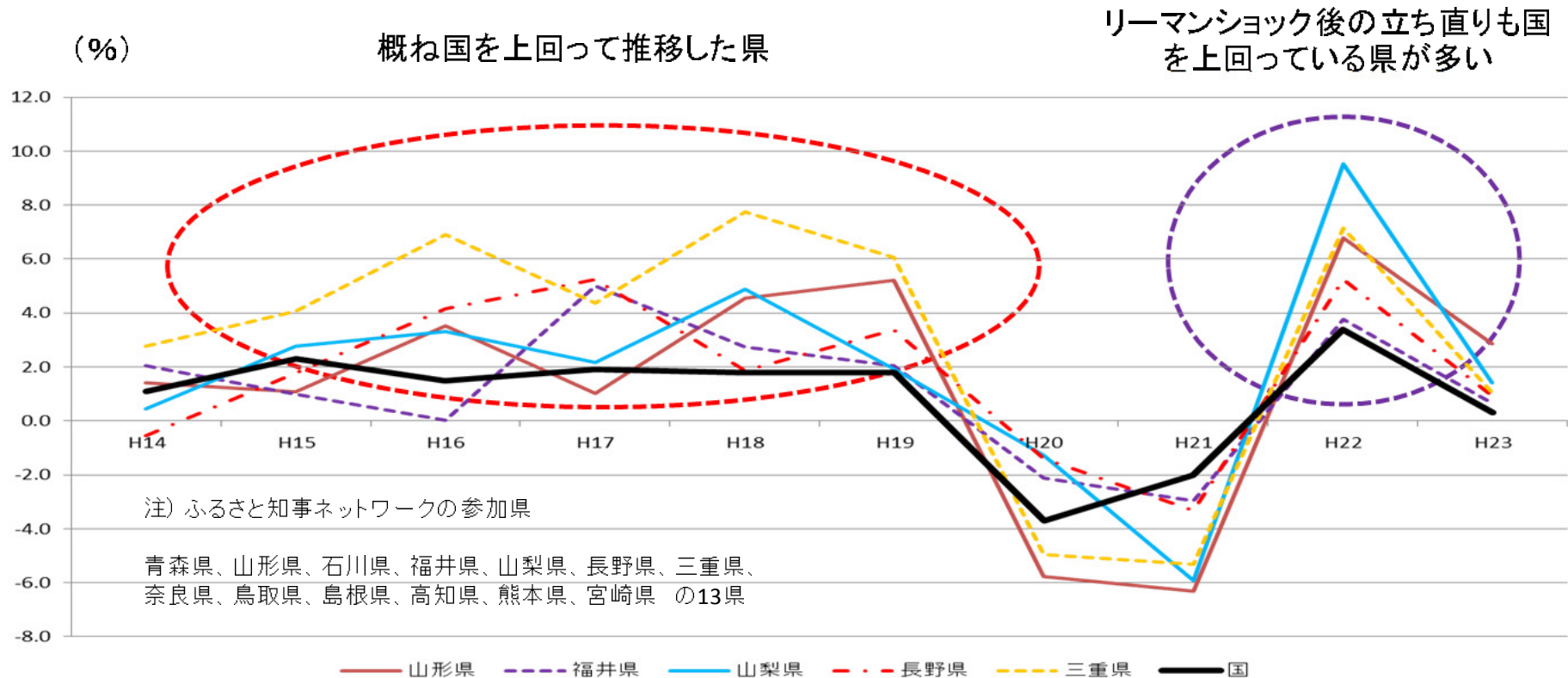


# 1. 実質経済成長率と製造業特化の傾向

## 実質経済成長率の推移(概ね国を上回る県)

- ふるさと知事ネットワーク参加県で前回の景気回復局面(平成14年1月～平成20年2月)で国の実質経済成長率を概ね上回った都道府県は、山形県、福井県、山梨県、長野県、三重県でリーマン・ショック後の立ち直りも国を上回っている。

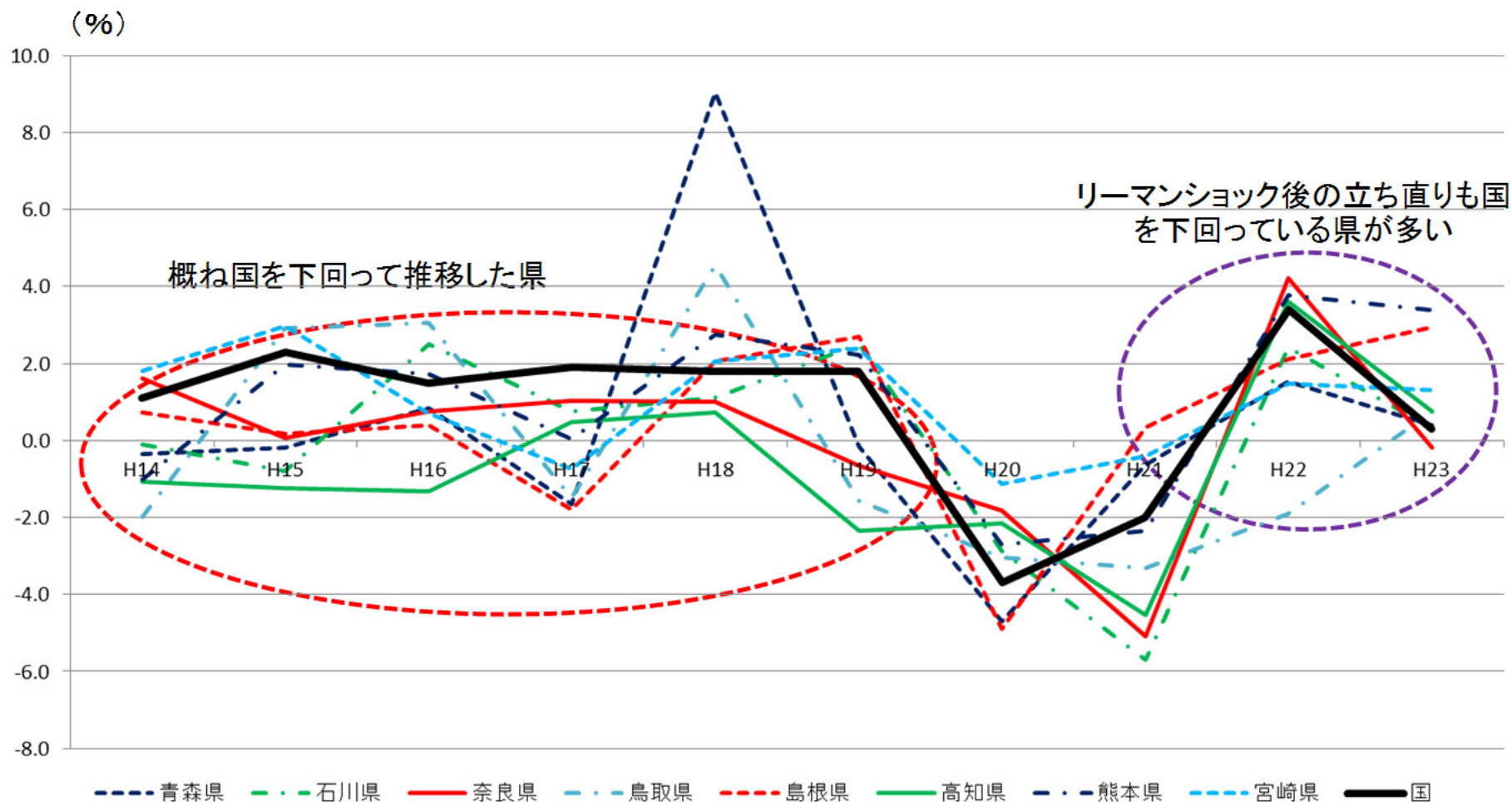
出典：平成23年度県民経済計算(内閣府)



# 実質経済成長率の推移(概ね国を下回る県)

○ ふるさと知事ネットワーク参加県等で前回の景気回復局面(平成14年1月～平成20年2月)で国の実質経済成長率を概ね下回った都道府県は、青森県、石川県、奈良県、鳥取県、島根県、高知県、宮崎県、熊本県でリーマン・ショック後の立ち直りも概ね国と同水準かやや国を下回っている。

出典：平成23年度県民経済計算(内閣府)

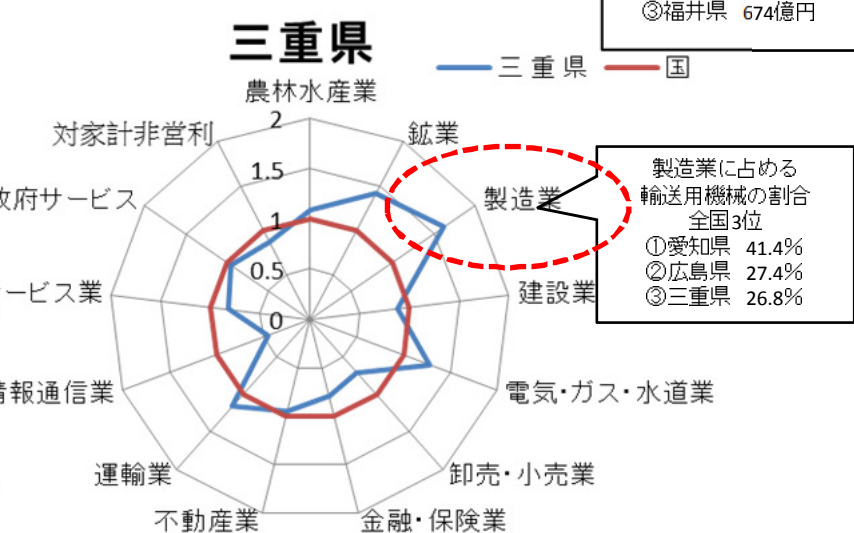
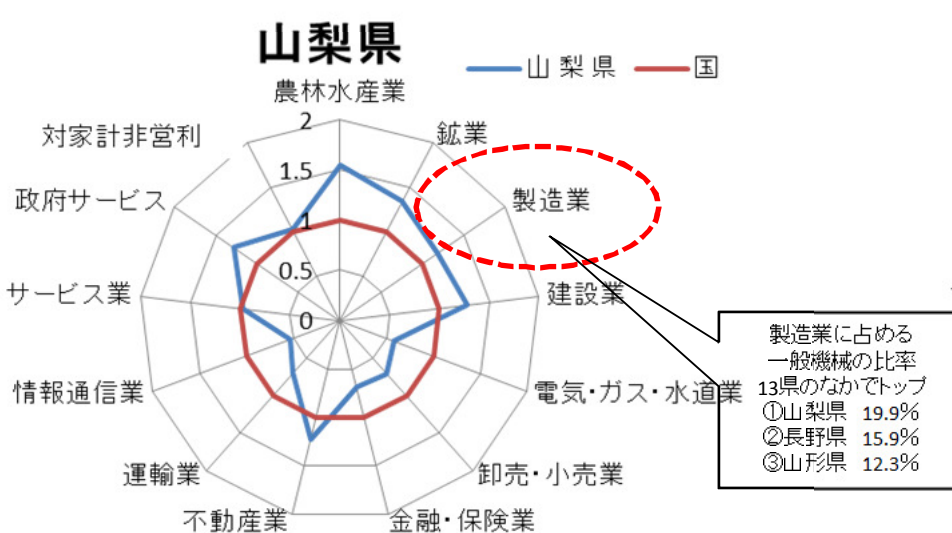
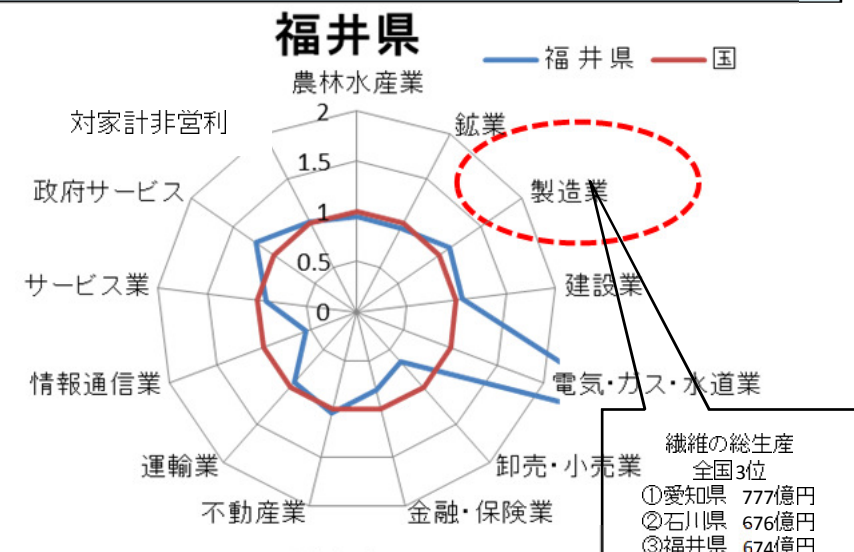
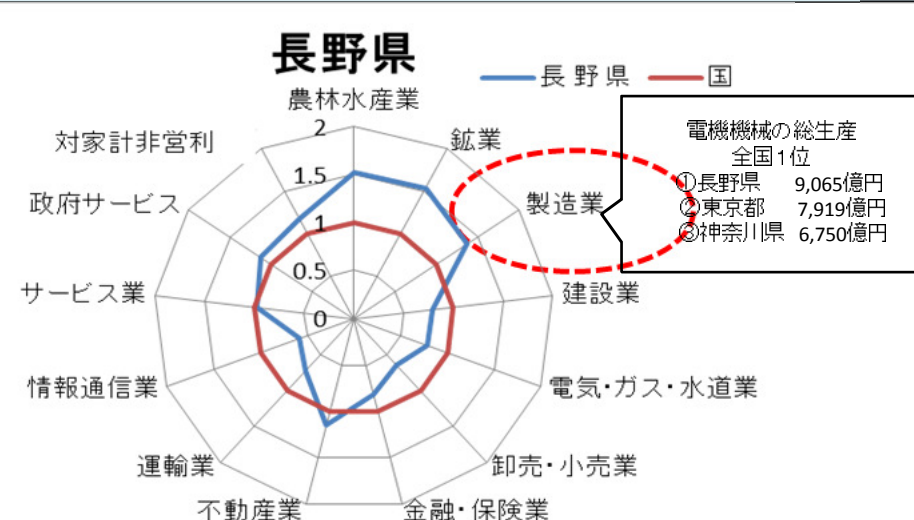


# 県内総生産の業種別構成比(その1)

○国の実質経済成長率を上回った県は、製造業の特化係数が1以上(=全国平均以上の割合で製造業が存在している)である傾向。

※ 特化係数 =  $\frac{\text{各県の県内総生産の業種別構成比}}{\text{国内総生産の業種別構成比}}$

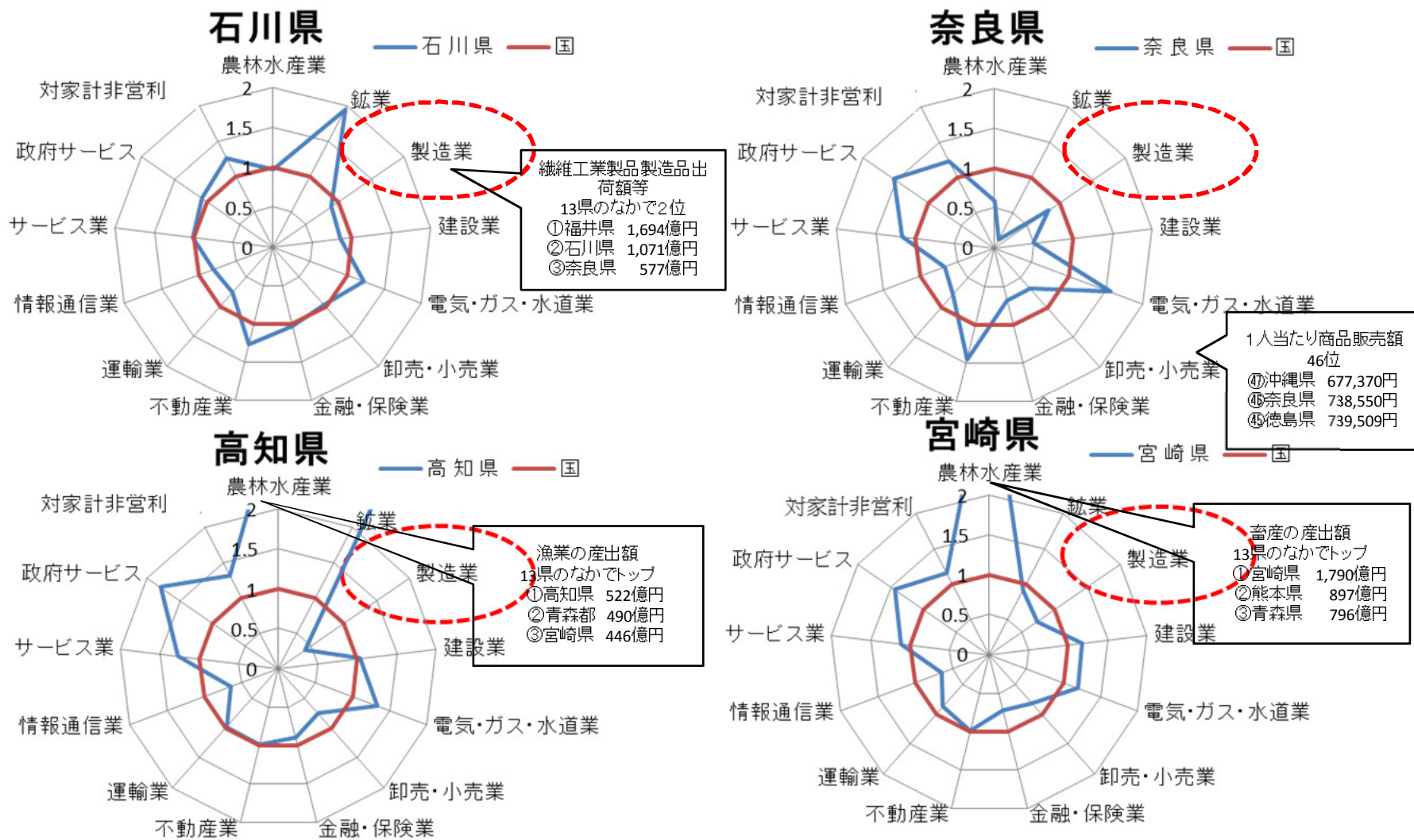
出典：平成23年度県民経済計算(内閣府)



# 県内総生産の業種別構成比(その2)

○ 国の実質経済成長率を下回った県は、製造業の特化係数が1以下(=全国並の割合ほど製造業が存在していない)である傾向。一方、サービス業では、奈良県、高知県、宮崎県で全国の割合より高く、他の県も全国と同水準の割合となっている。

出典：平成23年度県民経済計算(内閣府)



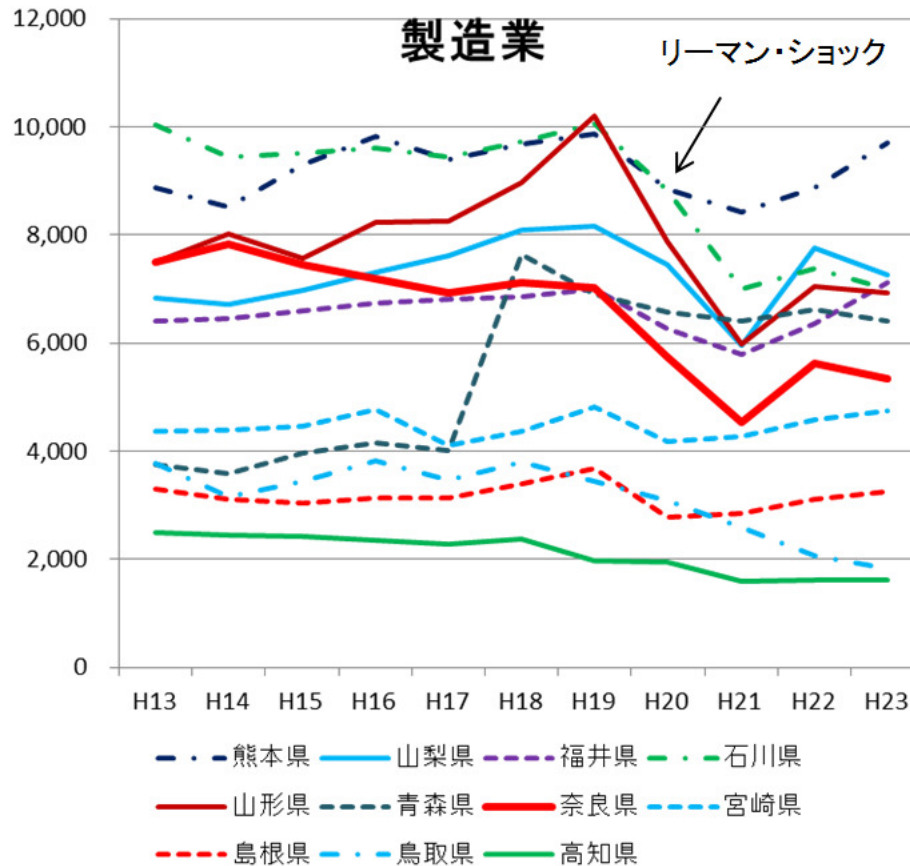


# 県内総生産の業種別実額の推移(製造業)

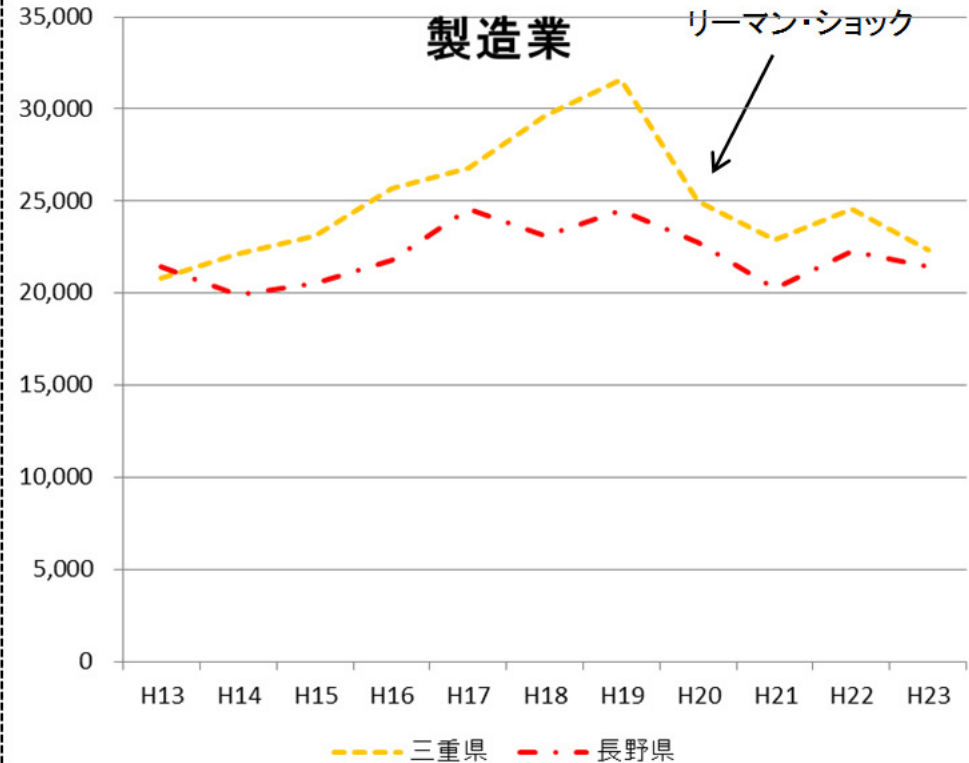
- ふるさと知事ネットワークの参加県の13県のなかで、山梨県、三重県、熊本県、宮崎県のH23年度の製造業の総生産はH13年度を上回っている。
- 青森県、島根県、宮崎県は、リーマン・ショック後も安定した傾向となっている。

出典：平成23年度県民経済計算(内閣府)

(単位:億円)



(単位:億円)

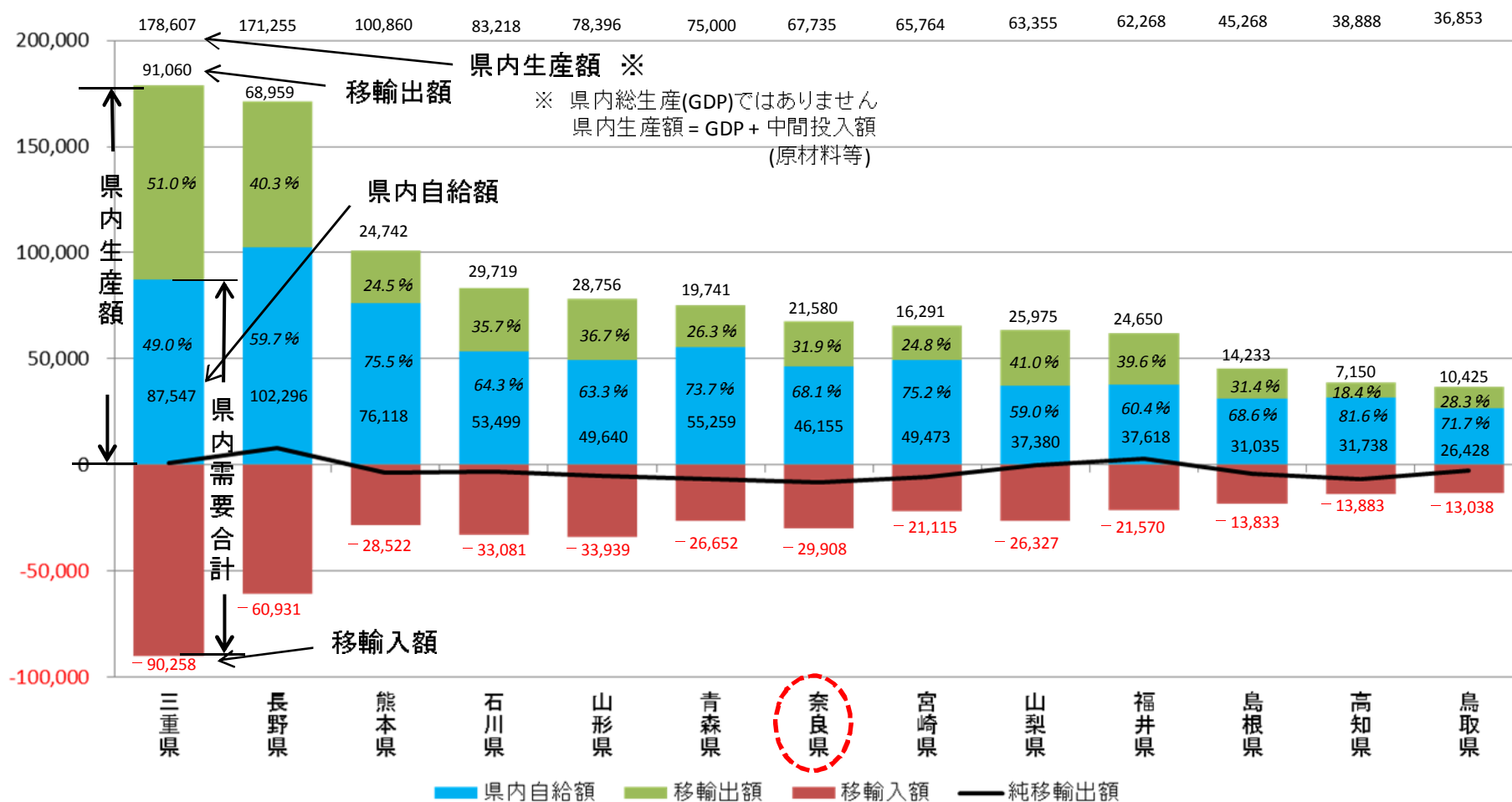


## 2. 県内生産額と域外取引の収支

### 県内生産額と移輸出額と移輸入額の関係(域際収支)

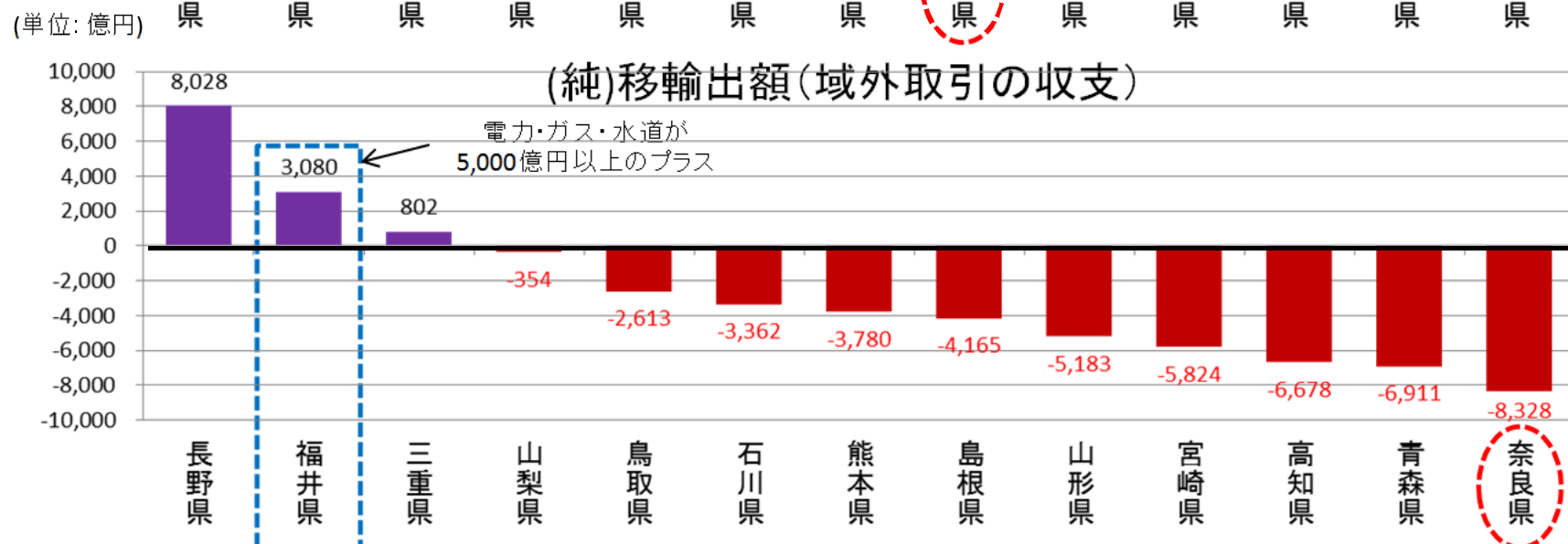
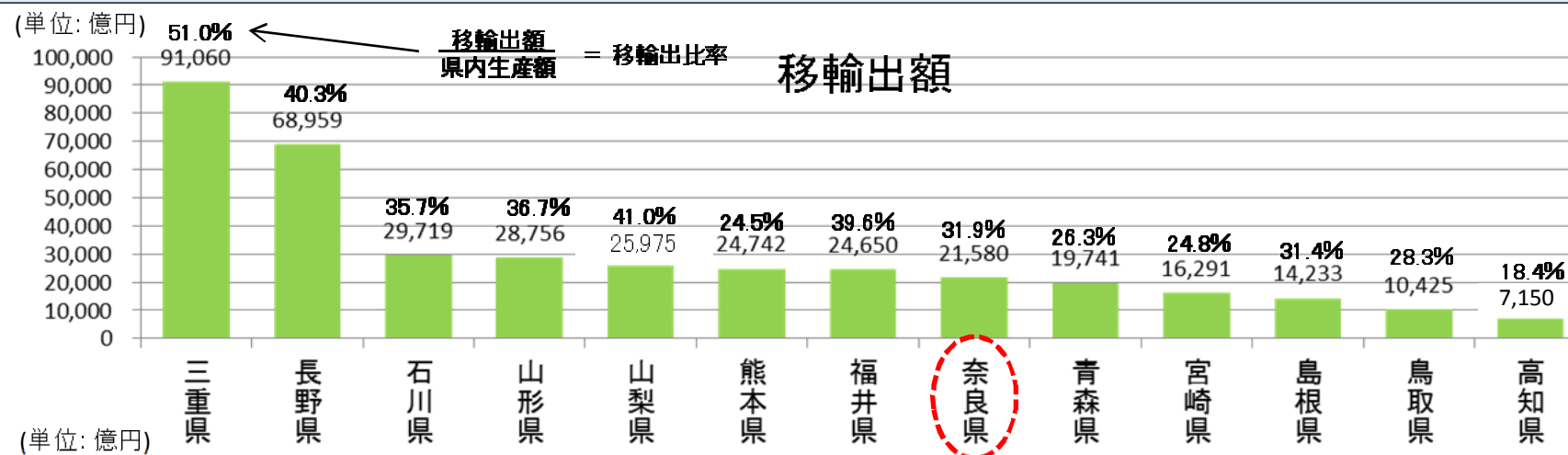
- 三重県の県内生産額に占める移輸出額の割合(51.0%)が高く、ふるさと知事ネットワーク13県の中で最も移輸出型の経済構造である。
- 県内自給額の割合は、高知県が一番高くなっている(81.6%)。奈良県も、68.1%でどちらかといえば「内需型」。

出典:各県平成17年産業連関表



## 移輸出額と(純)移輸出額(域際収支)の関係

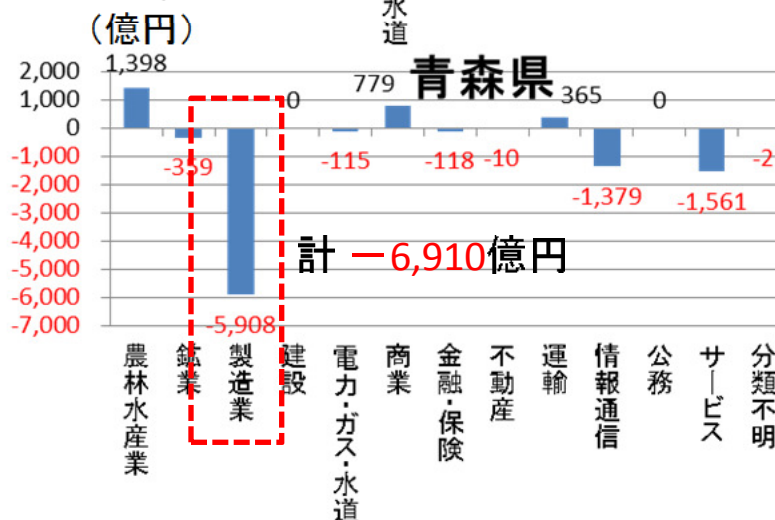
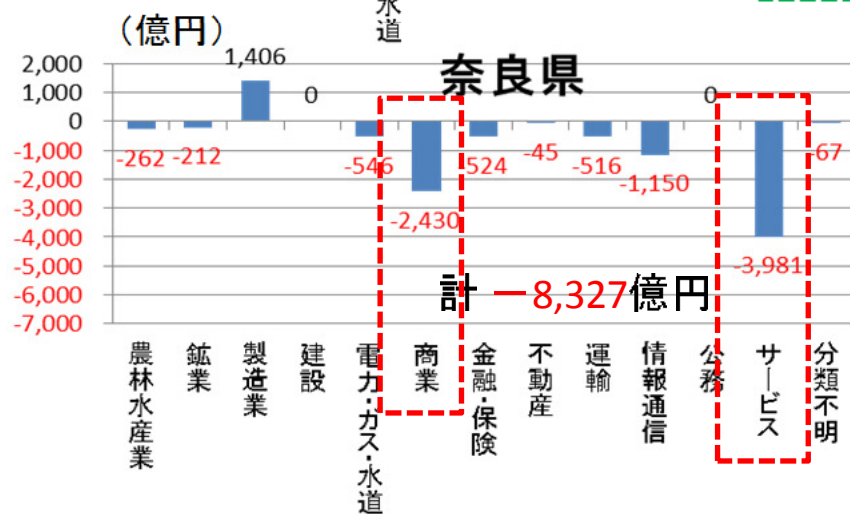
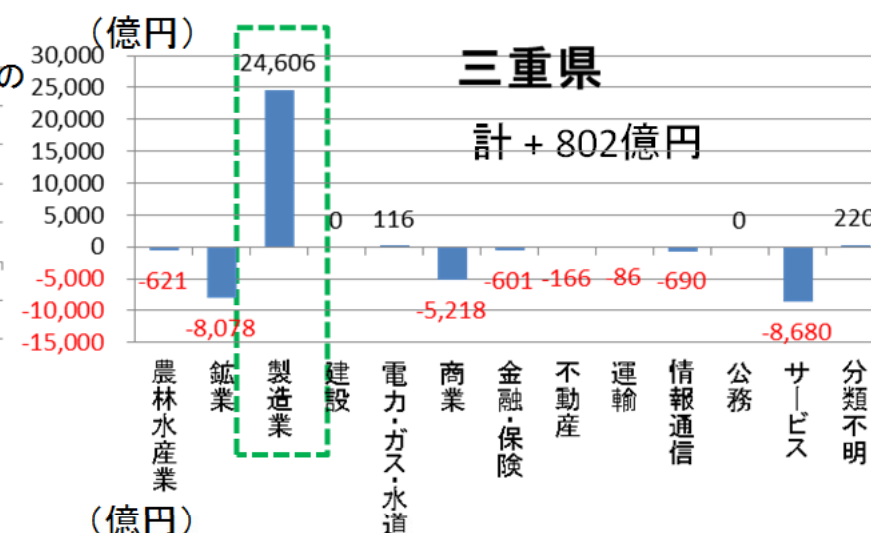
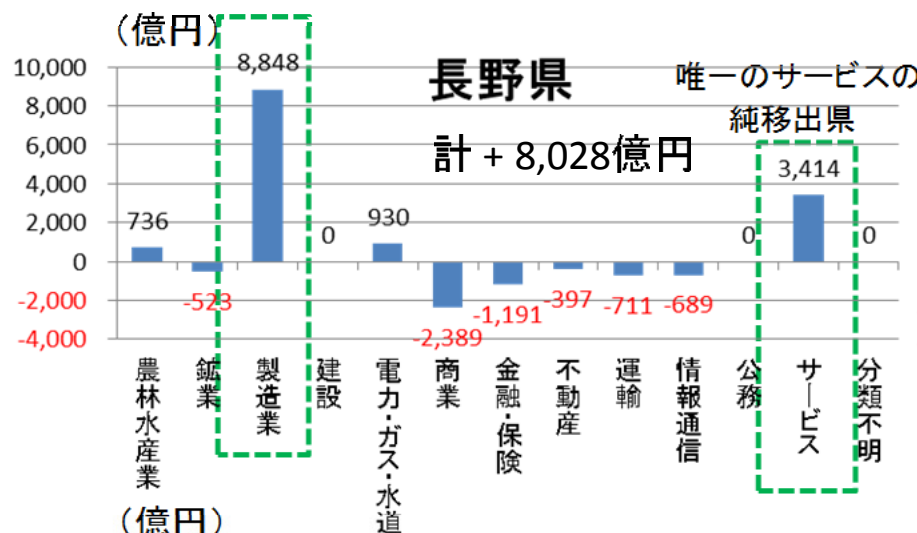
- 13県の中で移輸出額が群を抜いて高い三重県、長野県は(純)移輸出額もプラスとなっている。
  - 福井県は、電力・ガス・水道の(純)移輸出が5,000億円以上あるため、トータルでも(純)移輸出がプラスとなっている。
  - 他の10県は、残念ながら域際収支は赤字となっている。
- 出典：各県平成17年産業連関表



# 主要13業種ごとの移輸出額(域外取引の収支)

- 業種ごとの純移輸出をみるために、産業連関表(H17年)をもとに比較してみると、製造業の特化係数が1以上である長野県、三重県は、製造業の純移輸出も大きく黒字となっている。長野県だけが、サービス業が黒字となっている。
- 奈良県は、商業、サービス業において大きな赤字。  
(製造業が黒字の理由は、H17年当時、半導体・集積回路の純移輸出が1,500億円以上あったため)
- 青森県は、製造業が大きく赤字だが、農林水産業の黒字が13県で一番大きい。

出典:各県平成17年産業連関表

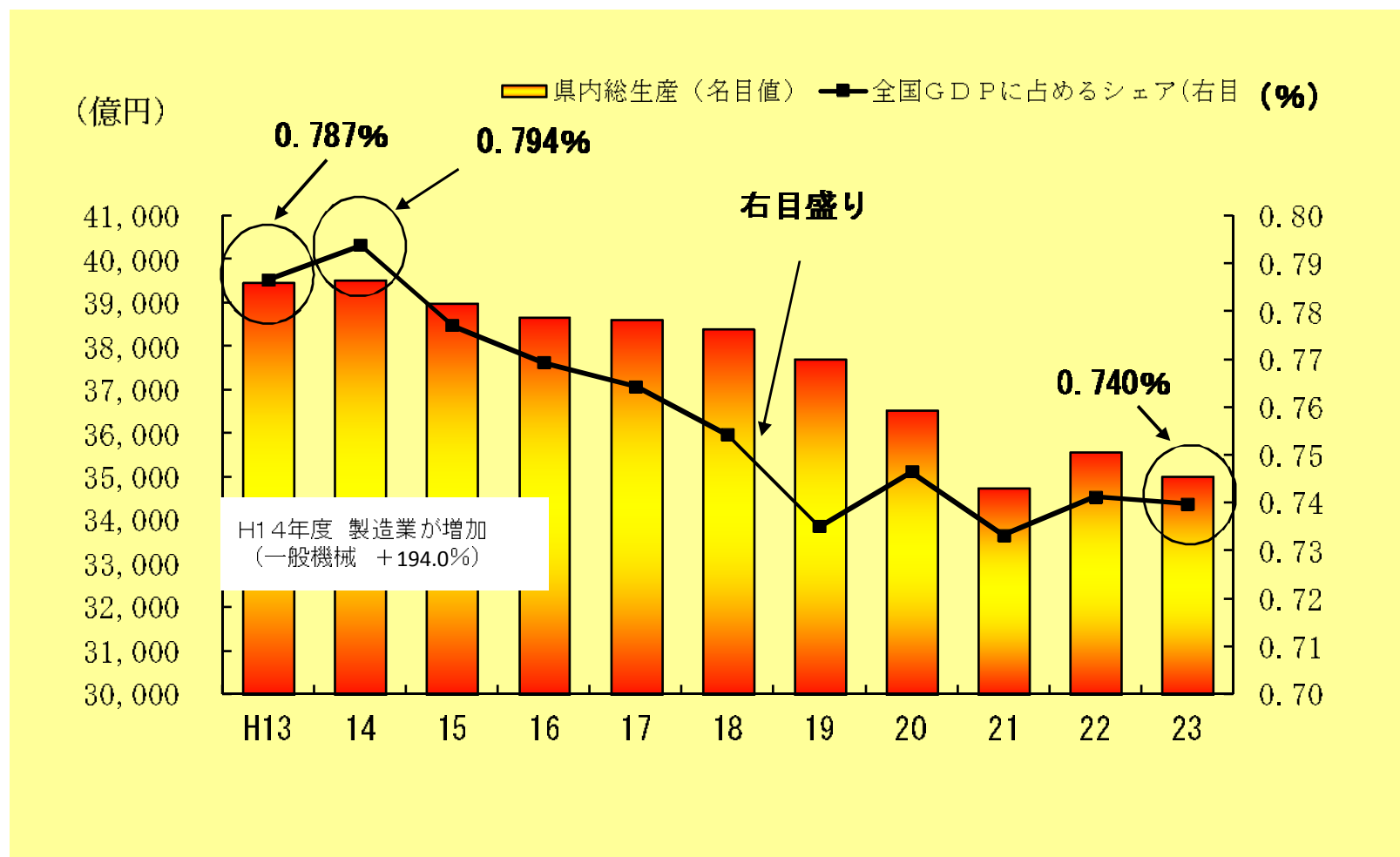


### 3. 県内総生産と全国比率

## 奈良県の県内総生産とその全国比較の推移

- 全国GDPに占める奈良県の比率(シェア)は増減はあるが、平成13年度 0.787% → 平成23年度 0.740% と減少。

出典:平成23年度奈良県県民経済計算

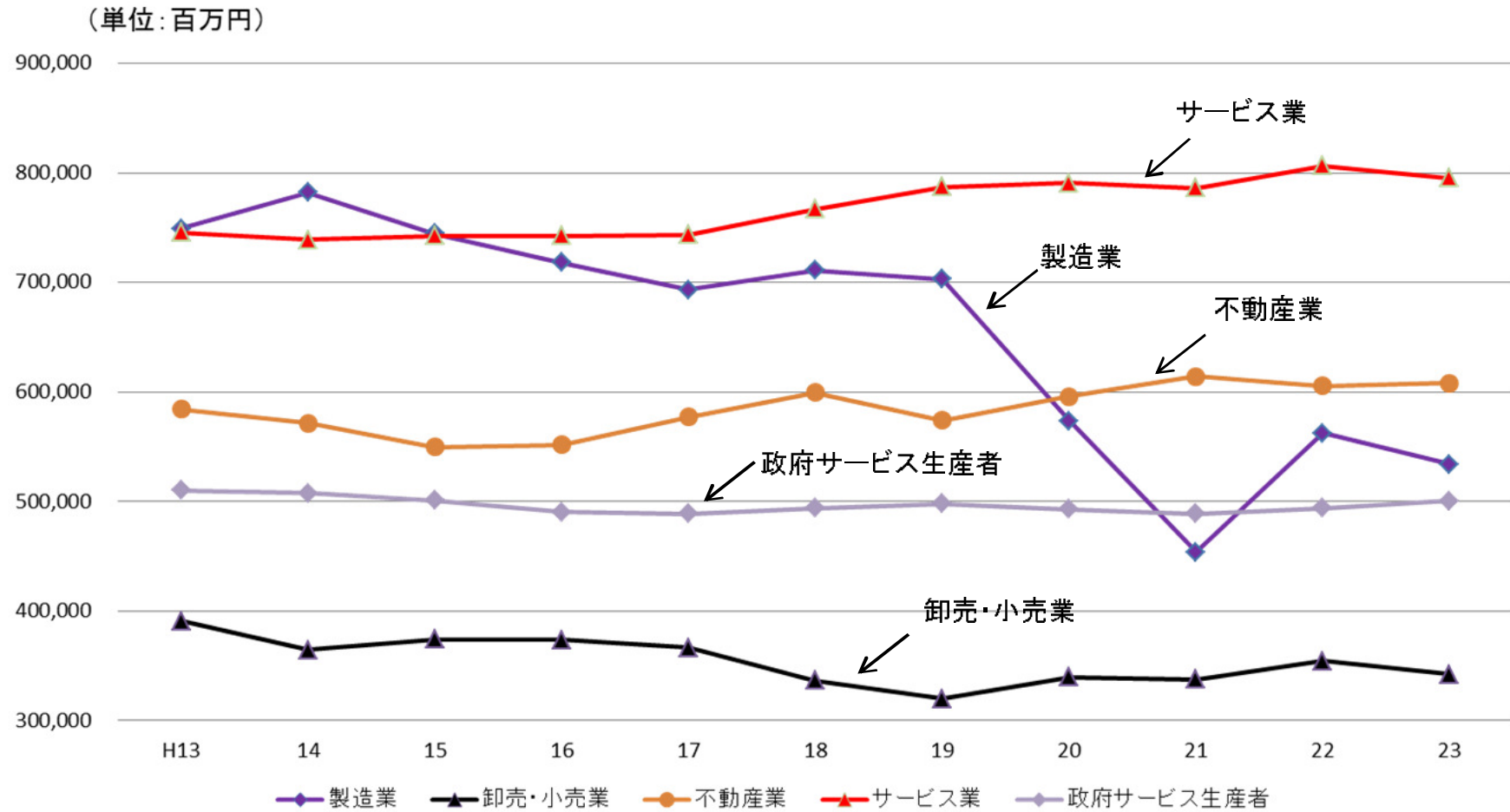


# 業種別総生産の推移(奈良県) その1

13

- 「製造業」は、変動はあるものの逓減傾向。
- 「卸売・小売業」は、低い水準で推移しながら逓減傾向。
- 「サービス業」、「不動産業」は、増加傾向。

出典：平成23年度奈良県県民経済計算

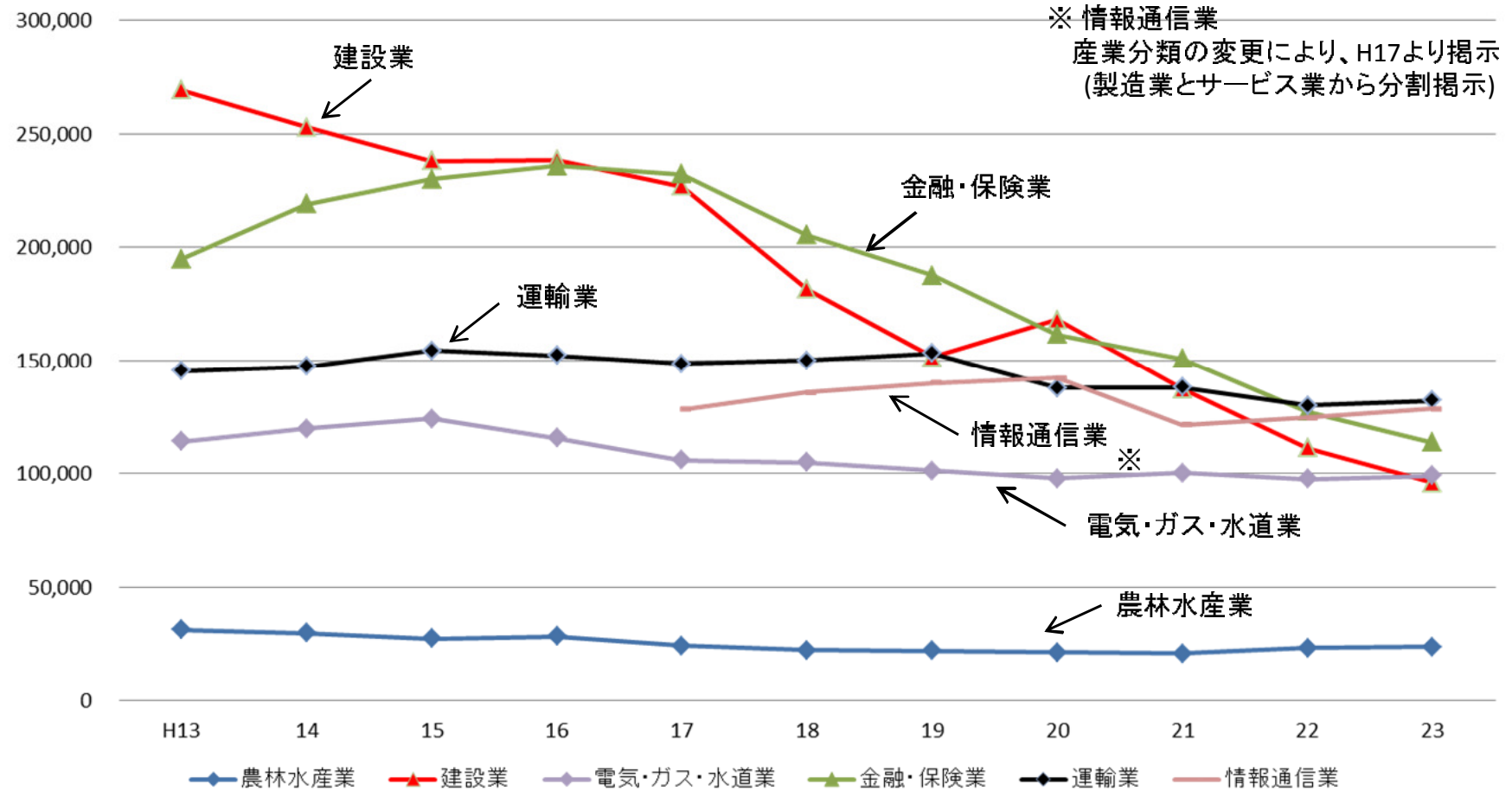


# 業種別総生産の推移(奈良県) その2

- 「建設業」、「金融・保険業」は、逓減傾向。
- 「運輸業」は、横ばいながらも逓減傾向。
- 「農林水産業」は、低位で推移しながらも、直近の2～3年は増加傾向。

出典：平成23年度奈良県県民経済計算

(単位：百万円)



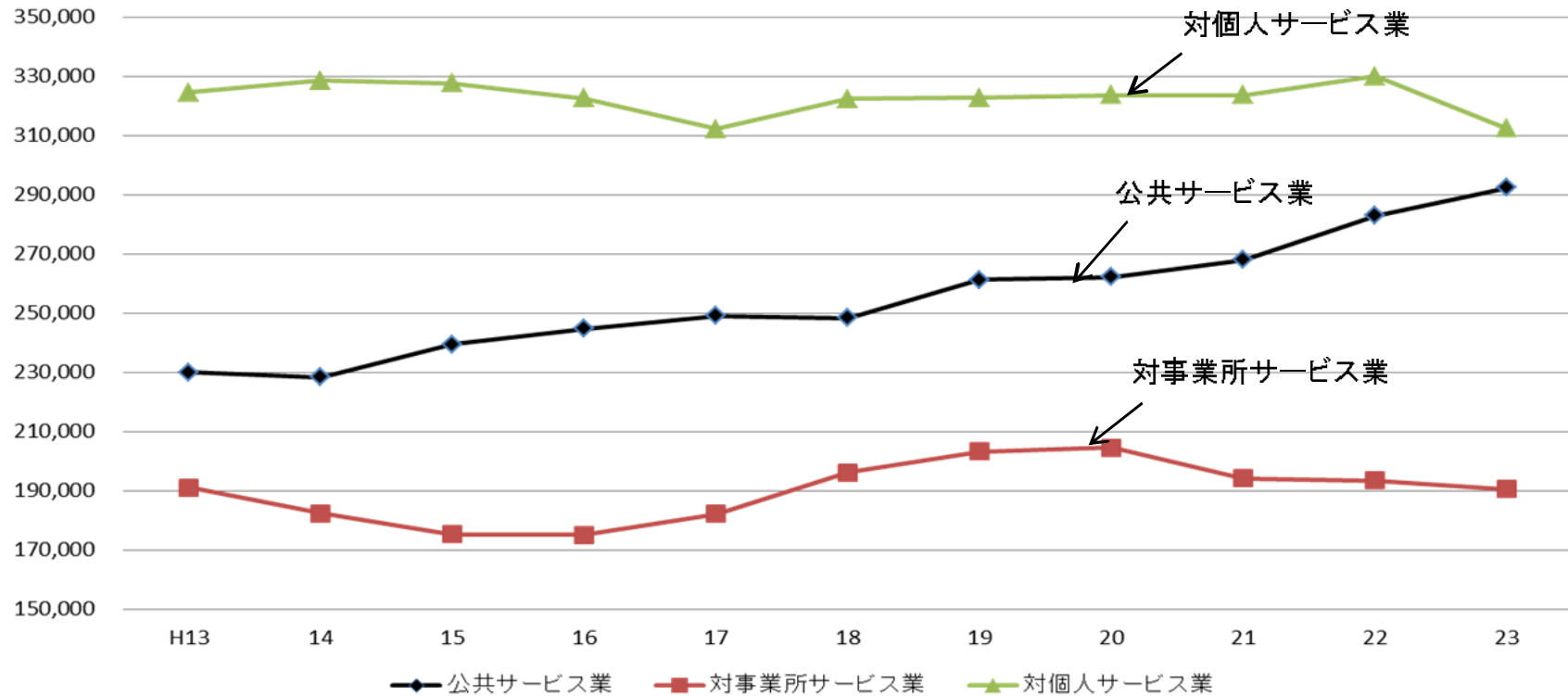
# サービス業総生産の内訳(奈良県)

○ サービス業の内訳をみると、  
「対個人サービス業」、「対事業所サービス業」は、ほぼ横ばいで推移し、「医療・介護・福祉」等を含む  
「公共サービス業」は増加傾向。

※ 対個人サービス業 飲食サービス、宿泊業、理美容等  
対事業所サービス業 広告・調査・情報サービス、建物サービス業等  
公共サービス業 医療・介護、研究等

出典：平成23年度奈良県県民経済計算

(単位：百万円)



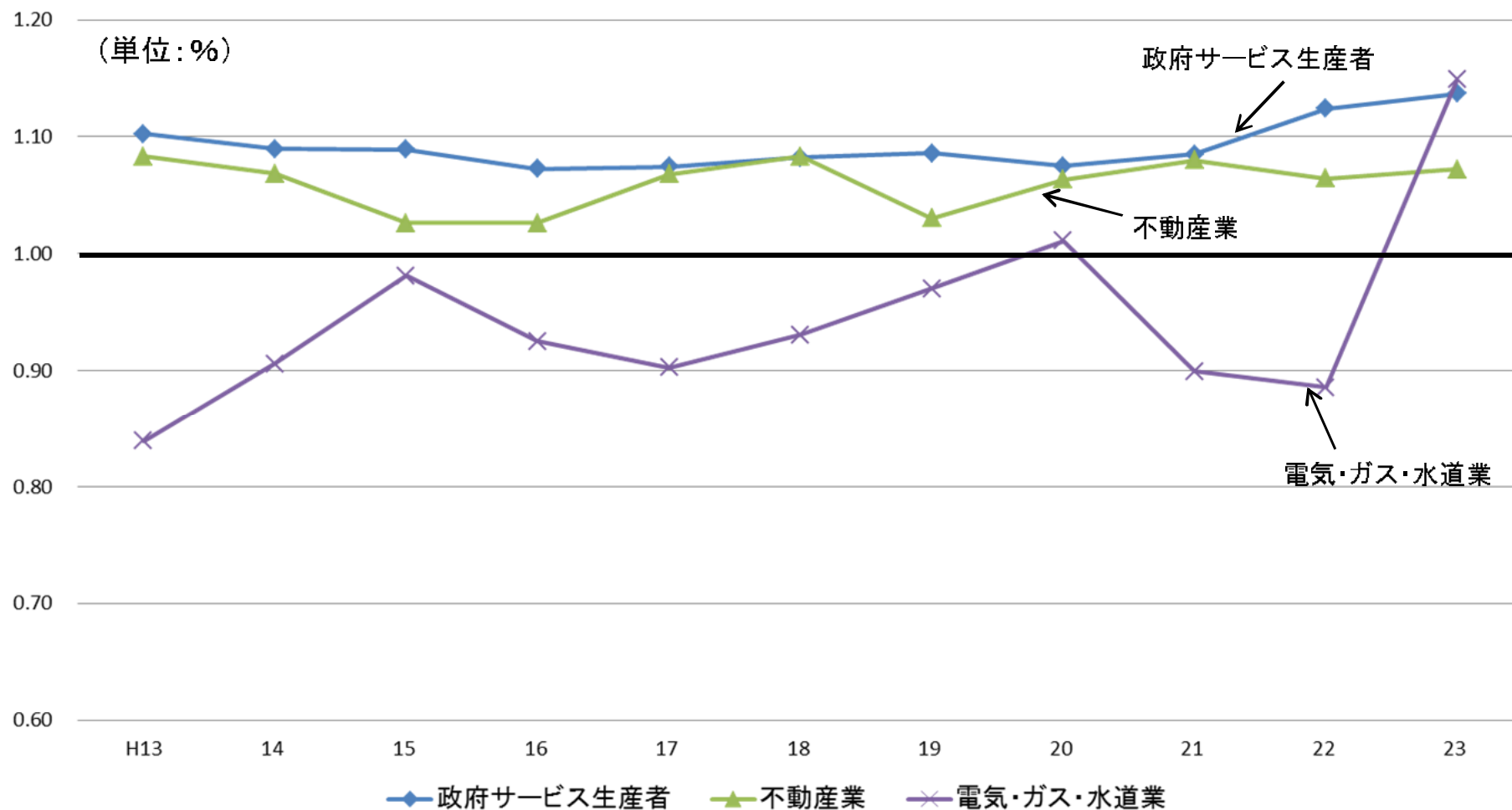


# 総生産の全国比率(シェア) 1.00%を上回る産業(奈良県)

# 16

- 政府サービス生産者と不動産の全国シェアは、人口の全国シェア1.09に近い。
- 電気・ガス・水道業の全国シェアは、H23年度に全国のGDPが原材料価格(LNG等)の増加により、減少したため、水力発電の多い奈良県の全国シェアは高く算出される。

出典：平成23年度奈良県県民経済計算

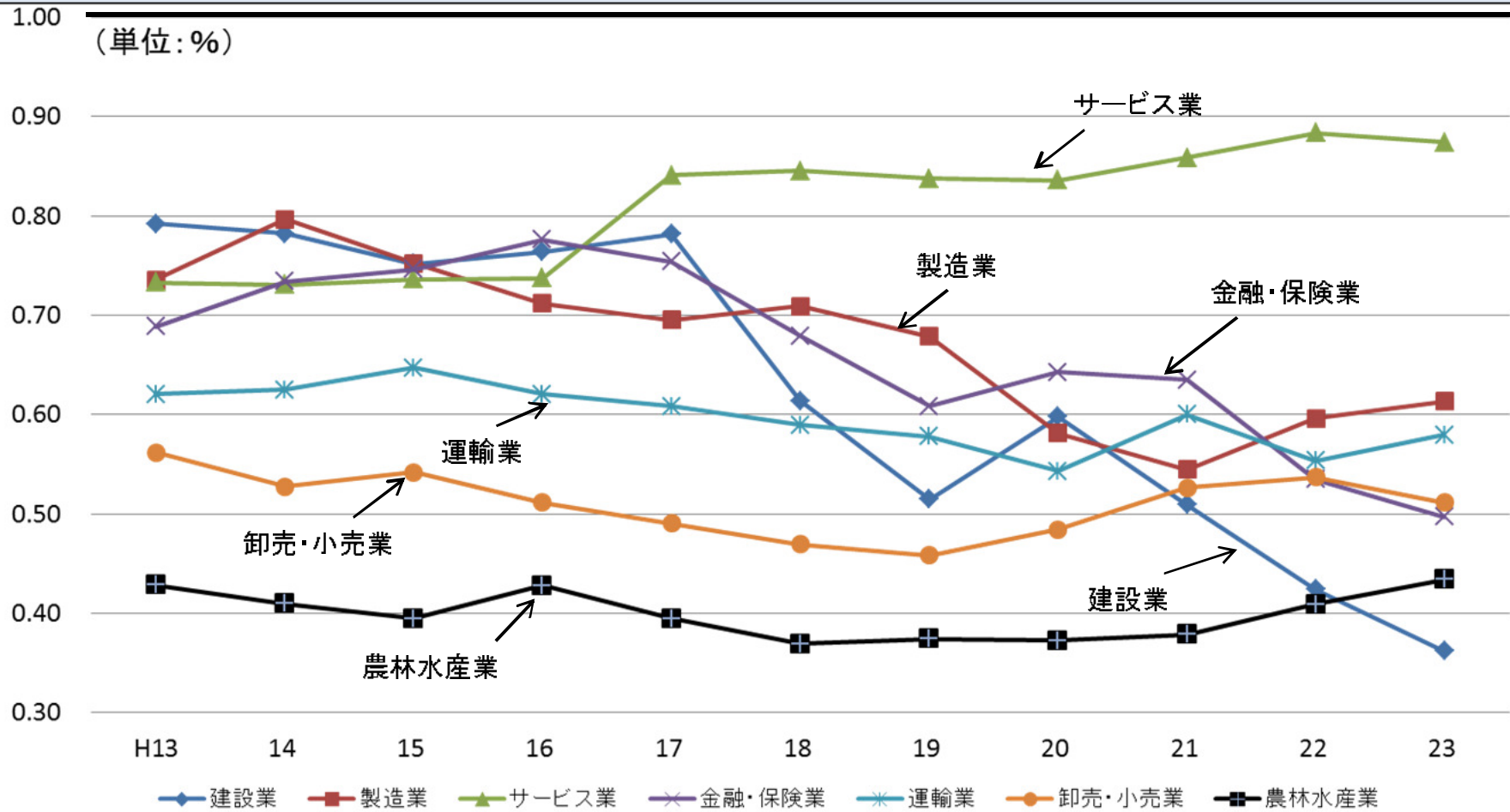


# 総生産の全国比率シェア 1.00%を下回る産業(奈良県)

17

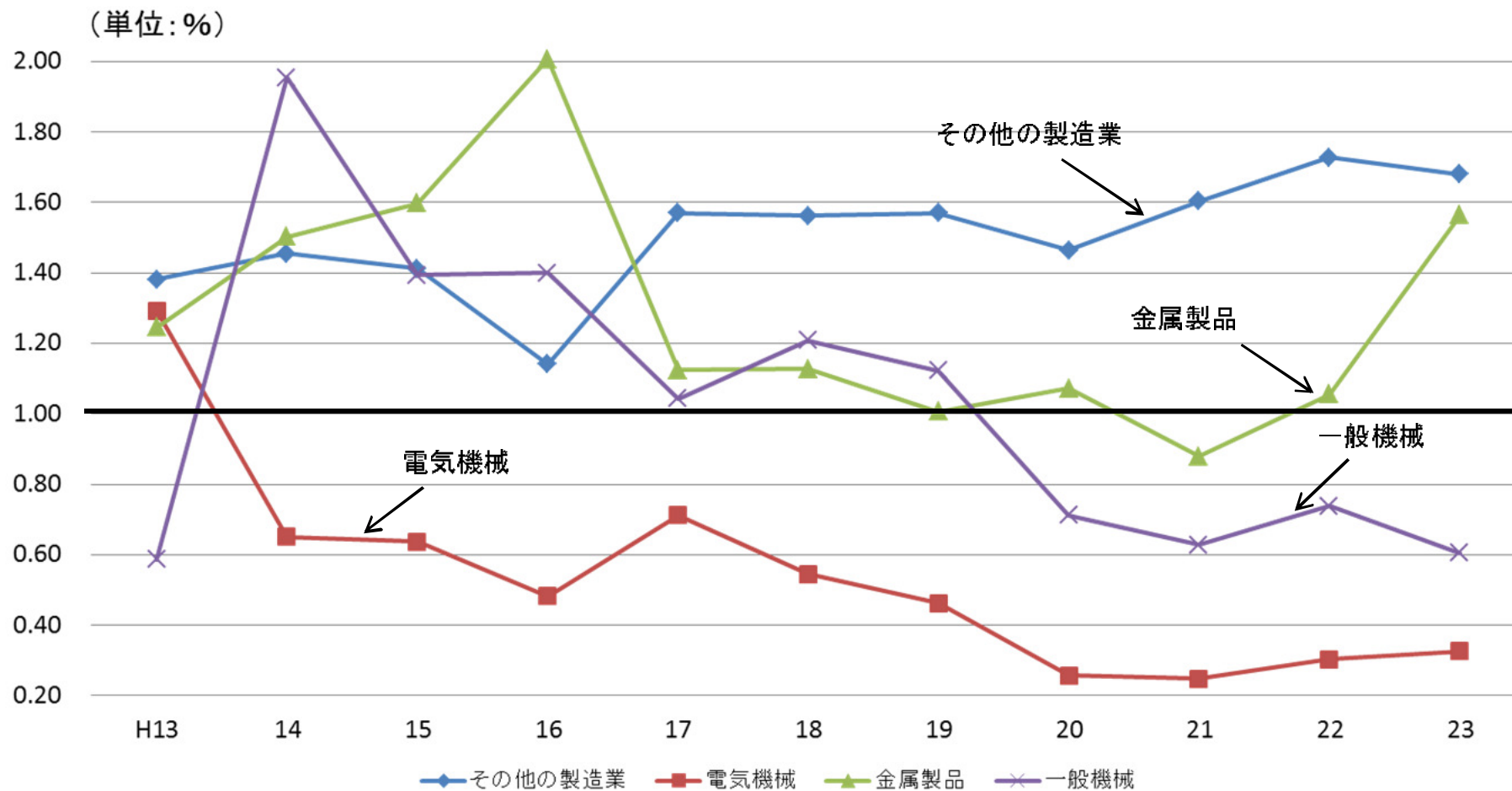
- 製造業の全国シェアは、H14年度の0.80%をピークに減少傾向にあったが、H22年度から増加傾向。
- サービス業は、医療等の公共サービスが増加したため、全国シェアを上げている。

出典：平成23年度奈良県県民経済計算



- 電気機械、一般機械の全国シェアは、低下傾向。
- 一方、その他の製造業(プラスチック製品、ゴム製品、木材等)の全国シェアは、高い水準をキープ。

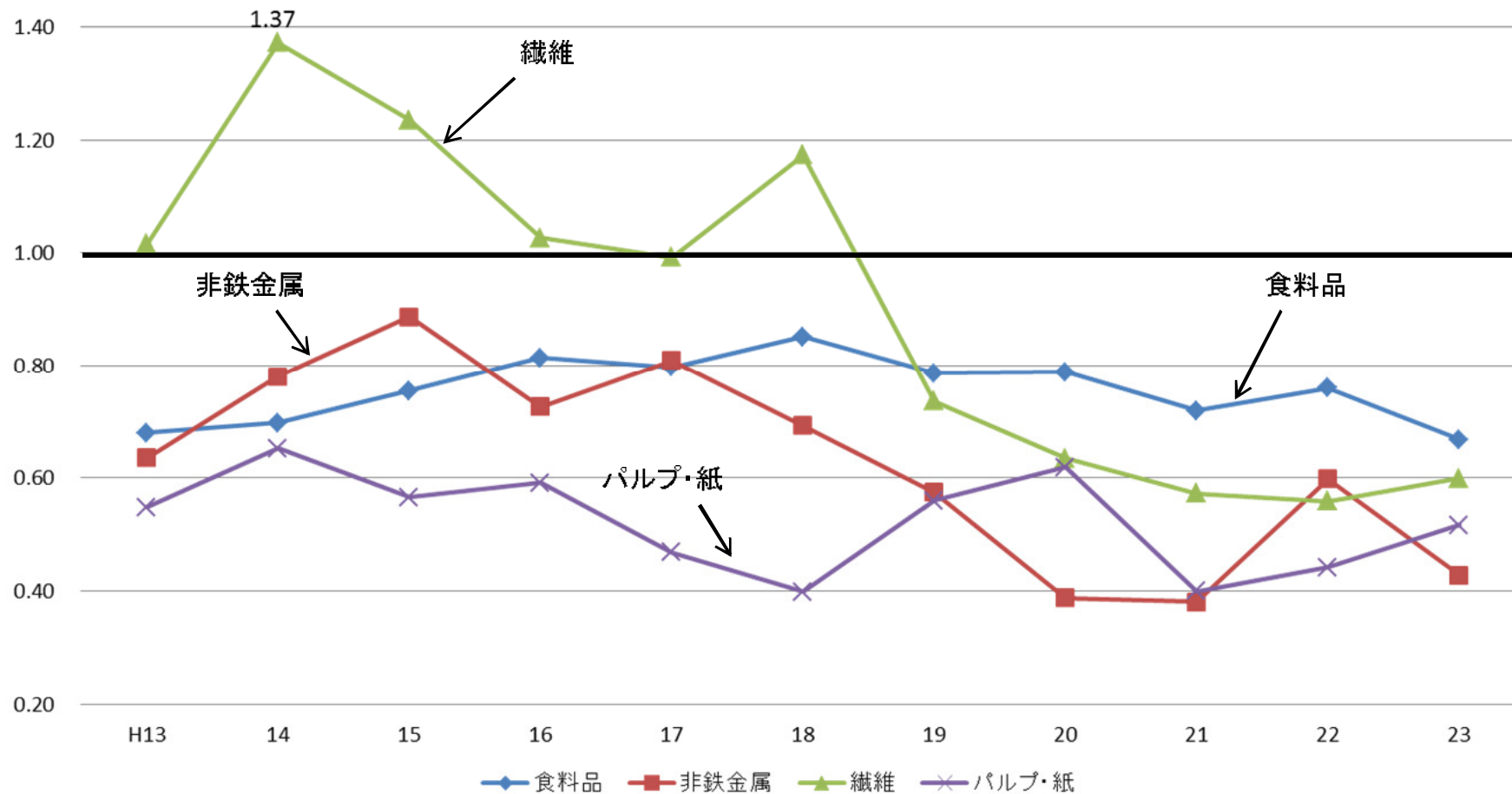
出典：平成23年度奈良県県民経済計算



- 繊維の全国シェアは、H14年度の1.37%をピークに減少傾向。
- 食料品は、安定して推移。

出典：平成23年度奈良県県民経済計算

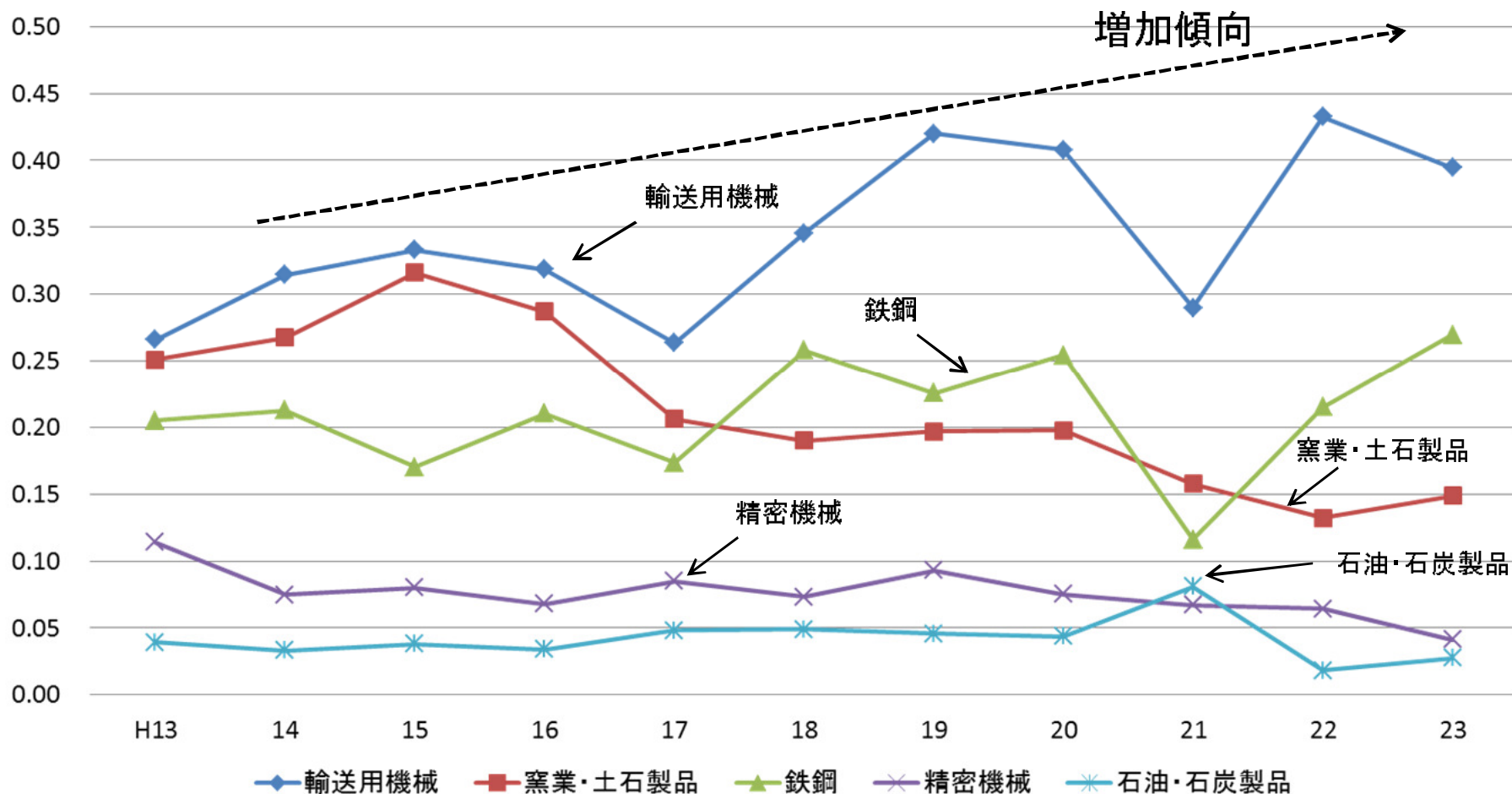
(単位：%)



○ 輸送用機械の全国シェアは、変動はあるものの増加傾向。

出典：平成23年度奈良県県民経済計算

(単位：%)

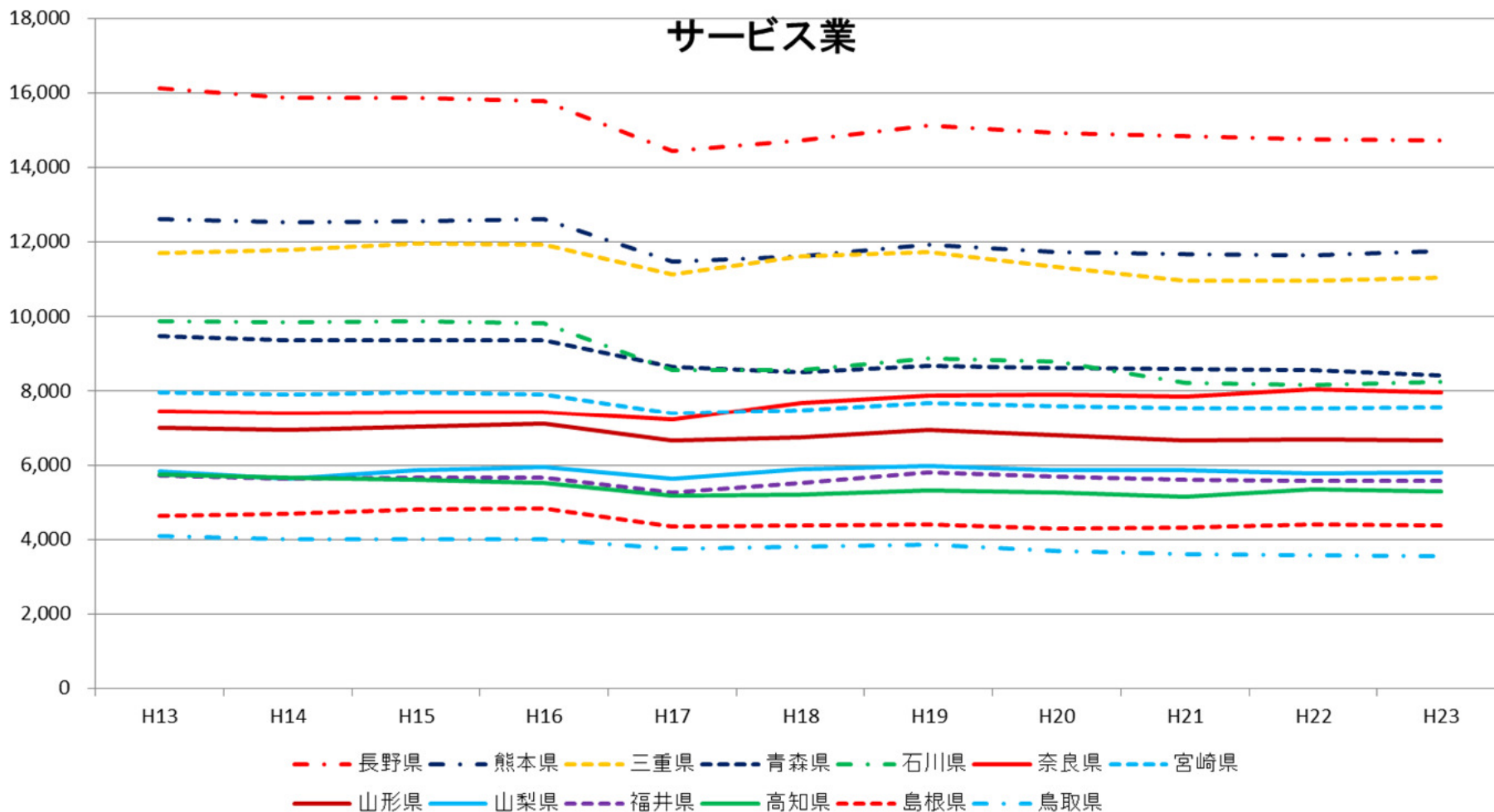


# 県内総生産の業種別実額の推移(サービス業)

- サービス業の総生産は、おおむね横ばい傾向にある。
- 青森県、石川県、奈良県、鳥取県、島根県、高知県、熊本県、宮崎県では、製造業の総生産よりも高くなっている。

出典：平成23年度県民経済計算(内閣府)

(単位：億円)

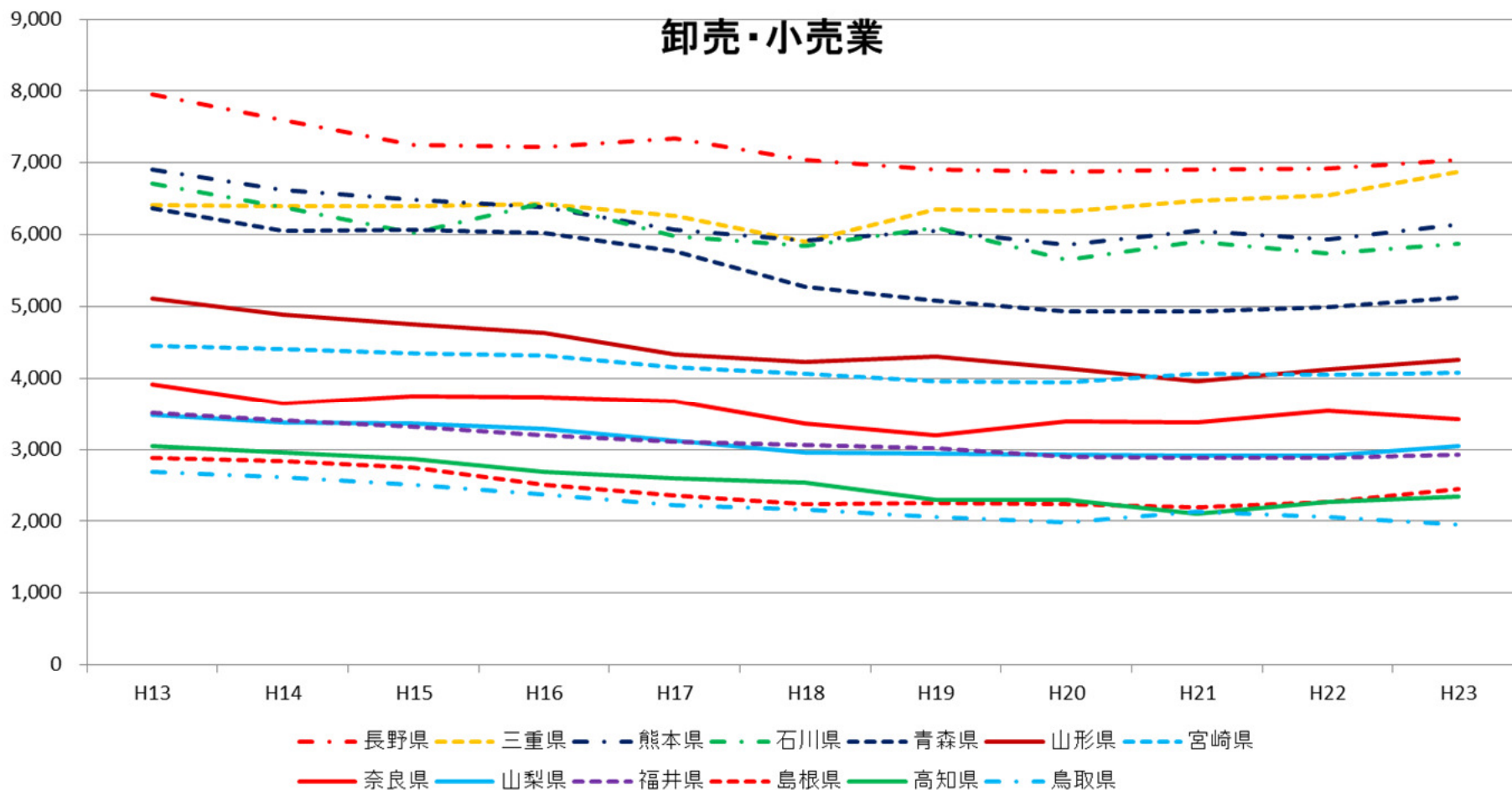


# 県内総生産の業種別実額の推移(卸売・小売業)

- 卸売・小売業の総生産も総じて逓減傾向にある。
- 青森県と奈良県は人口は同程度だが、青森県の方が卸売・小売業の総生産が高く、山形県、石川県、宮崎県の3県も人口は同程度だが石川県の総生産が高くなっている。

出典：平成23年度県民経済計算(内閣府)

(単位：億円)

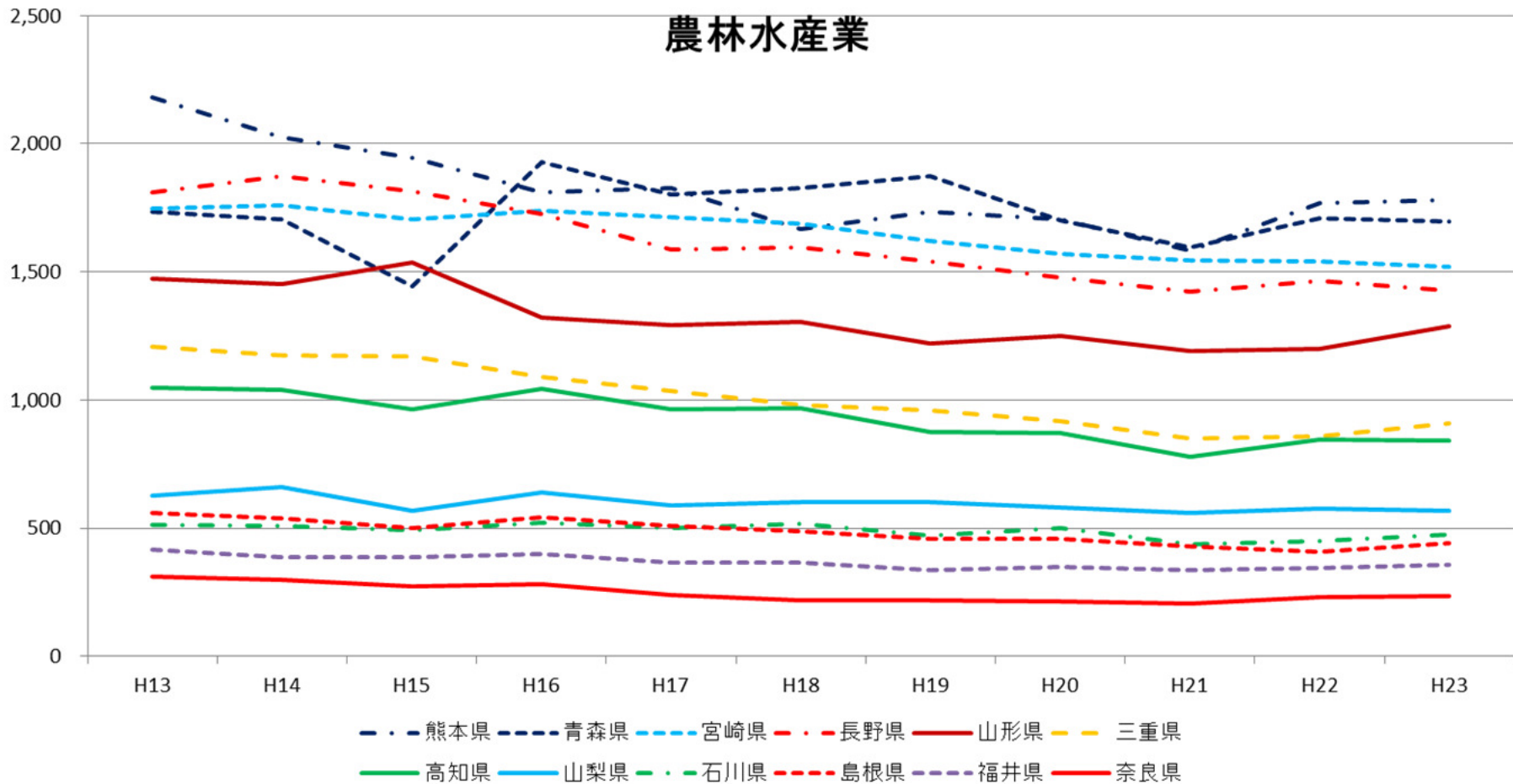


# 県内総生産の業種別実額の推移(農林水産業)

- 農林水産業も総生産はここ数年は各県とも横ばい傾向。
- 山梨県は奈良県と同程度の耕地面積で内陸県だが、総生産は山梨県が2倍程度ある。
- 宮崎県は耕地面積が13県の平均並だが、総生産は第3位となっている。

出典：平成23年度県民経済計算(内閣府)

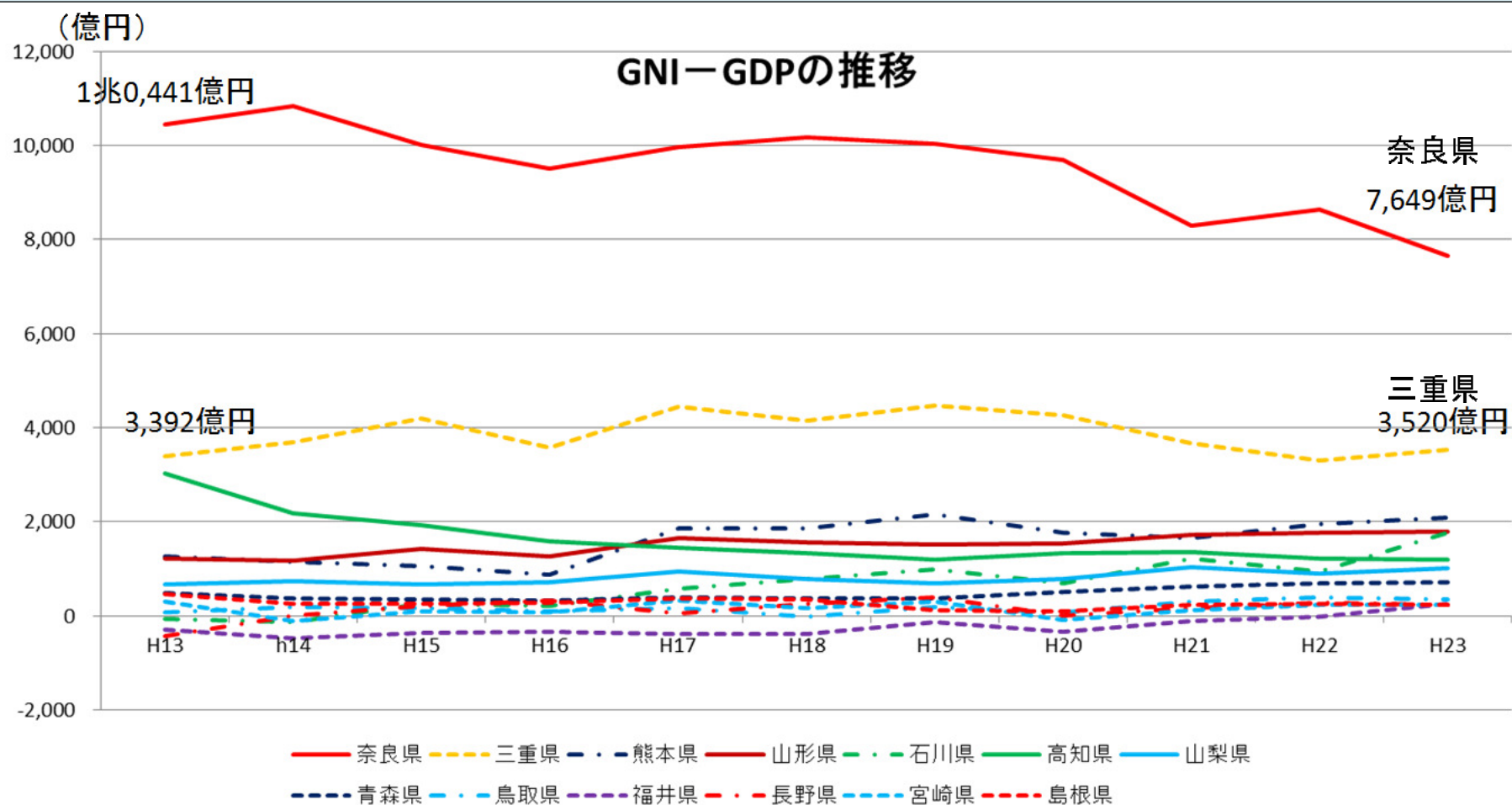
(単位：億円)





※  
○ GNIとGDPの差(県外からの純所得)をとってみると、奈良県は13県の中で群を抜いて高く、次いで三重県が高くなっている。

※GNIとは、GDPに県外からの所得(純)(雇用者報酬や配当などの財産所得等)を加えたもの



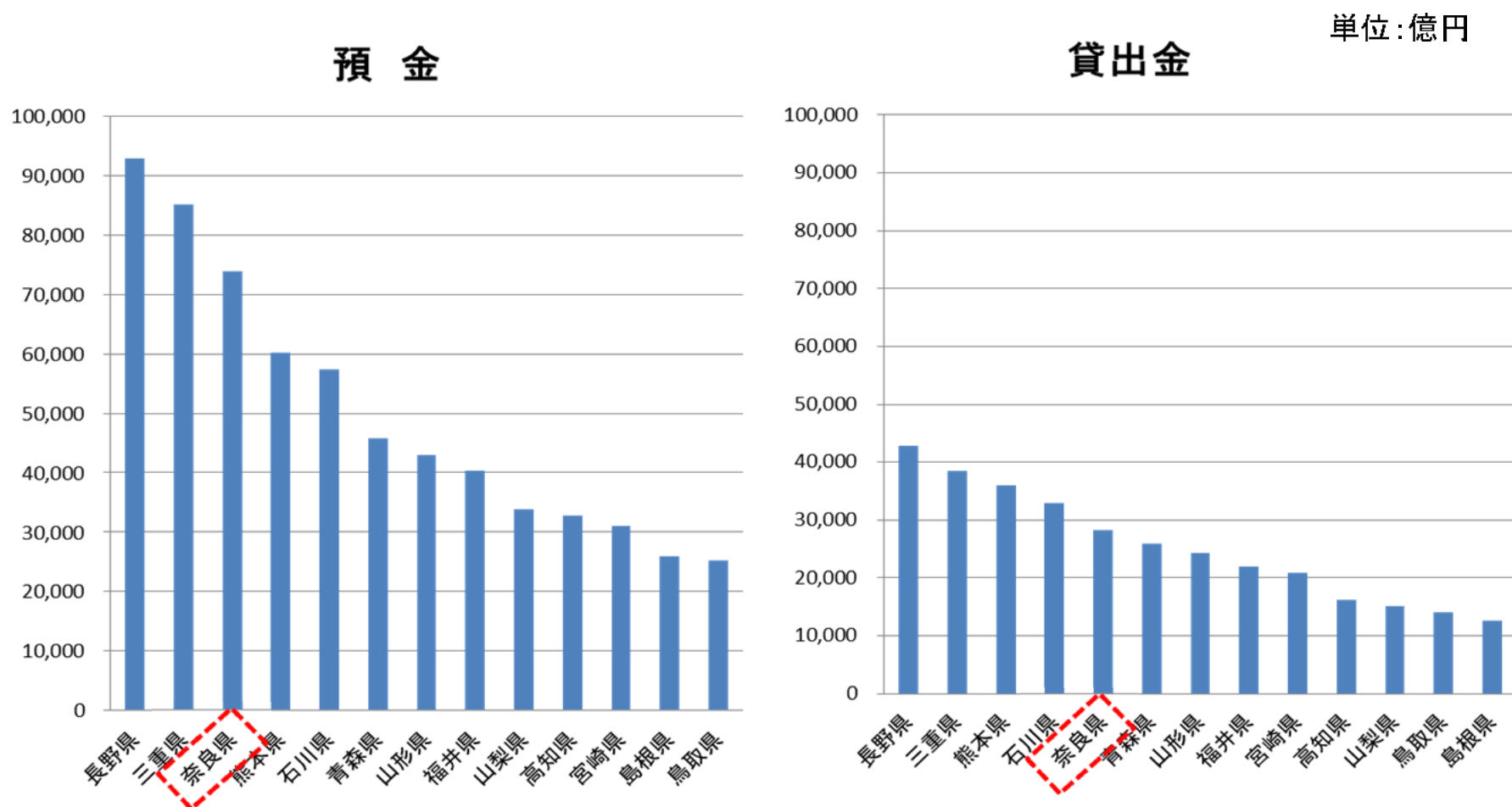
出典:平成23年度県民経済計算(内閣府)

## 4. 奈良県の預金と貸出金の関係

25

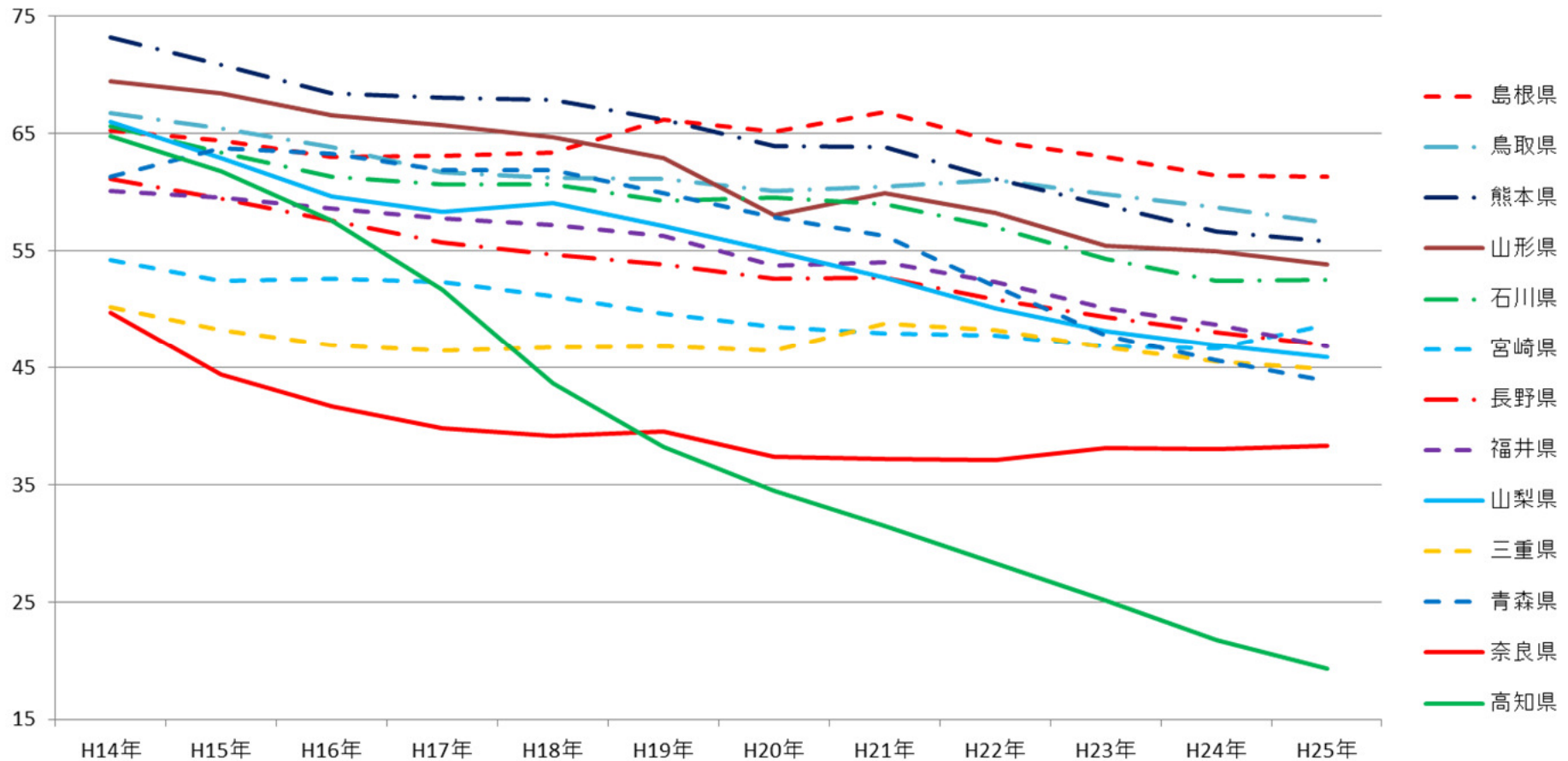
### 信用金庫と国内銀行 預金と貸出金（H25年3月末現在）

○預金は、長野県が1番多く、以下三重県、奈良県の順で、貸出金も、長野県が1番多く、以下三重県、熊本県の順となっている。



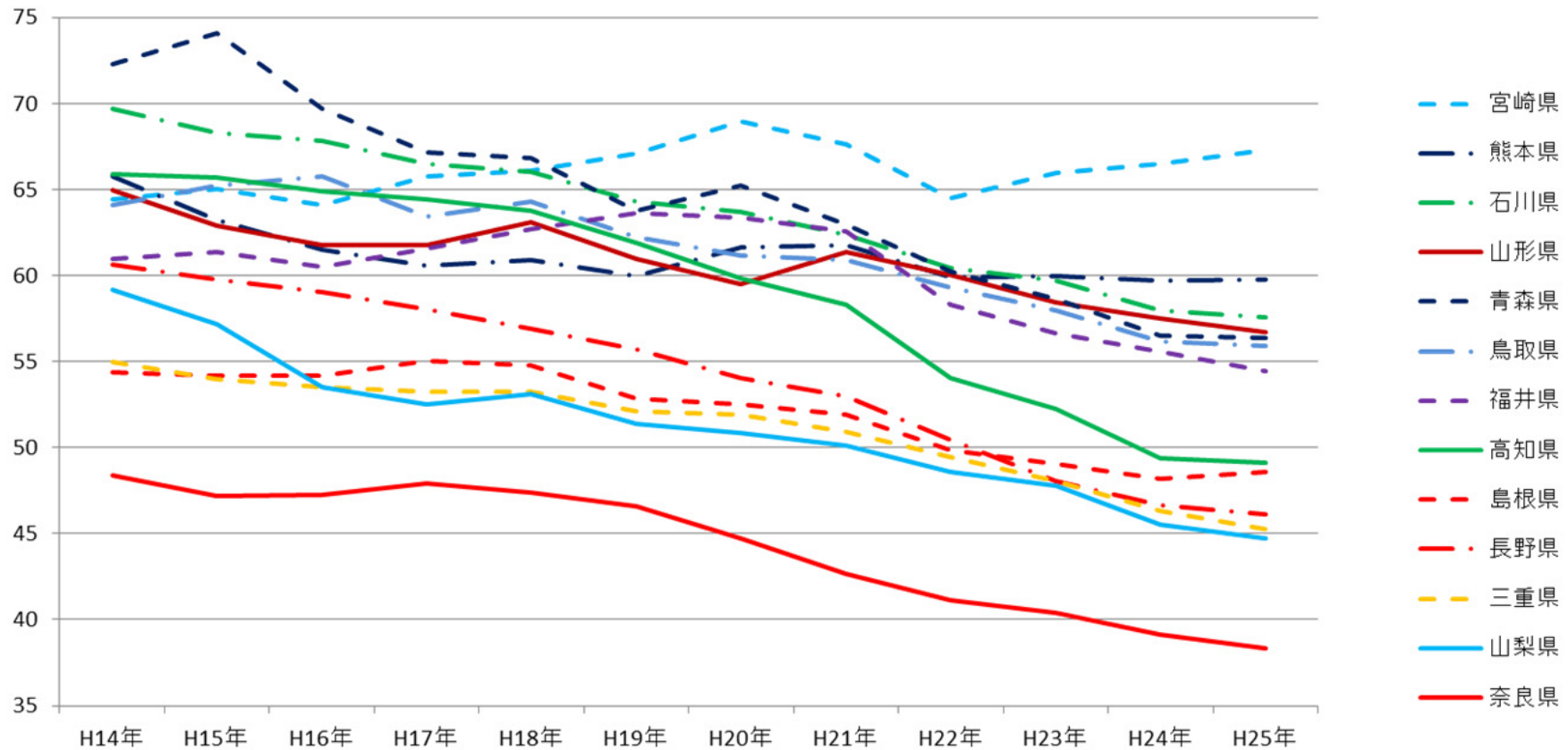
○ふるさと知事ネットワーク参加13県において、信用金庫の預貸率を比較すると、島根県が1番高く、奈良県、高知県が低い。(H14年～H25年の各年3月末現在)

信用金庫の預貸率(%)



○13県において、信用金庫と国内銀行の合計の預貸率を比較すると、県内生産額の高い長野県、三重県よりも宮崎県が1番高く、奈良県が1番低い。(H14年～H25年の各年3月末現在)

信用金庫と国内銀行の合計の預貸率(%)



※国内銀行:都市銀行、地方銀行、第二地方銀行、信託銀行の合計

全国信用金庫協会発行「信用金庫」、日本銀行HP